

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

沼田物流センター

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳			
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進								
1.1 建物の熱負荷抑制								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 基準値に比べ[PAL値] ≧ -25%	3.0	0.47	Q1	室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	3 外皮性能	
	3.0	0.00						
	5.0	0.53	LR1	エネルギー	1 建物の熱負荷抑制			
小計			4.1	0.04				
1.2 自然エネルギーの利用								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 太陽光を利用したエネルギーとした	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用		
	4.0	0.50	LR1	エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.2 自然エネルギーの変換利用		
小計			3.5	0.15				
1.3 設備システムの高効率化								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 [ERR値]が25%以上	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3 設備システムの高効率化			
小計			5.0	0.22				
1.4 設備システムの効率的運用								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング		
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制		
小計			3.0	0.15				
1.5 資源・マテリアル対策								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水		
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無	
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雑排水再利用システム導入の有無	
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減		
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用		
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		
	1.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材		
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		
小計			2.6	0.31				
1.6 ライフサイクルCO2排出率								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物に対して75%以下	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	1 地球温暖化への配慮			
小計			5.0	0.13				
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			3.7	0.69				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進								
2.1 温熱環境の向上								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.52	Q3	室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出			
	3.0	0.26	Q3	室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上		
	2.0	0.22	LR3	敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善		
小計			1.7	0.96				
2.2 交通負荷抑制								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制	
小計			3.0	0.04				
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			1.8	0.21				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進								
3.1 耐用性の向上								
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	1 耐震性	
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	2 免震・制振性能	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 躯体材料の耐用年数	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔	
	3.0	0.06	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔	
小計			3.0	0.70				
3.2 設備の更新性								
(コメント) ※設計の計画し特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給水配管の更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペース	
小計			3.0	0.30				
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)			3.0	0.10				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)			3.2					